

2022年9月期 決算の概要

2022年11月11日



DAISHI HOKUETSU
Financial Group

第四北越フィナンシャルグループ

※ 第四北越フィナンシャルグループを「第四北越FG」または「FG」と記載しております

DAISHI HOKUETSU
Financial Group
第四北越フィナンシャルグループ
第二次中期経営計画

銀行合併・新銀行誕生後

合併の成果をあげる新たなステージへ

2021年
4月

2024年
3月



2022年9月期

-  FG連結中間純利益は、当初業績予想を上回り、かつ前年同期比でも増益
-  FG設立から4年、銀行合併から1年9か月が経過。組織融和は着実に進展
-  全役職員が“一志団結”でグループ総合力を発揮したコンサルティング営業を実践
-  3大シナジー（合併シナジー、グループシナジー、TSUBASA連携シナジー）を順調に発揮
 - 50拠点の店舗統合（2022年11月完了予定）や人員の再配置は順調に進捗
 - グループ再編では主要事業のFG完全子会社化を実施（2022年10月）

FG連結 (億円)

123

76

77

当初業績予想
(2022/5公表)

2021年9月期

2022年9月期

前年同期比

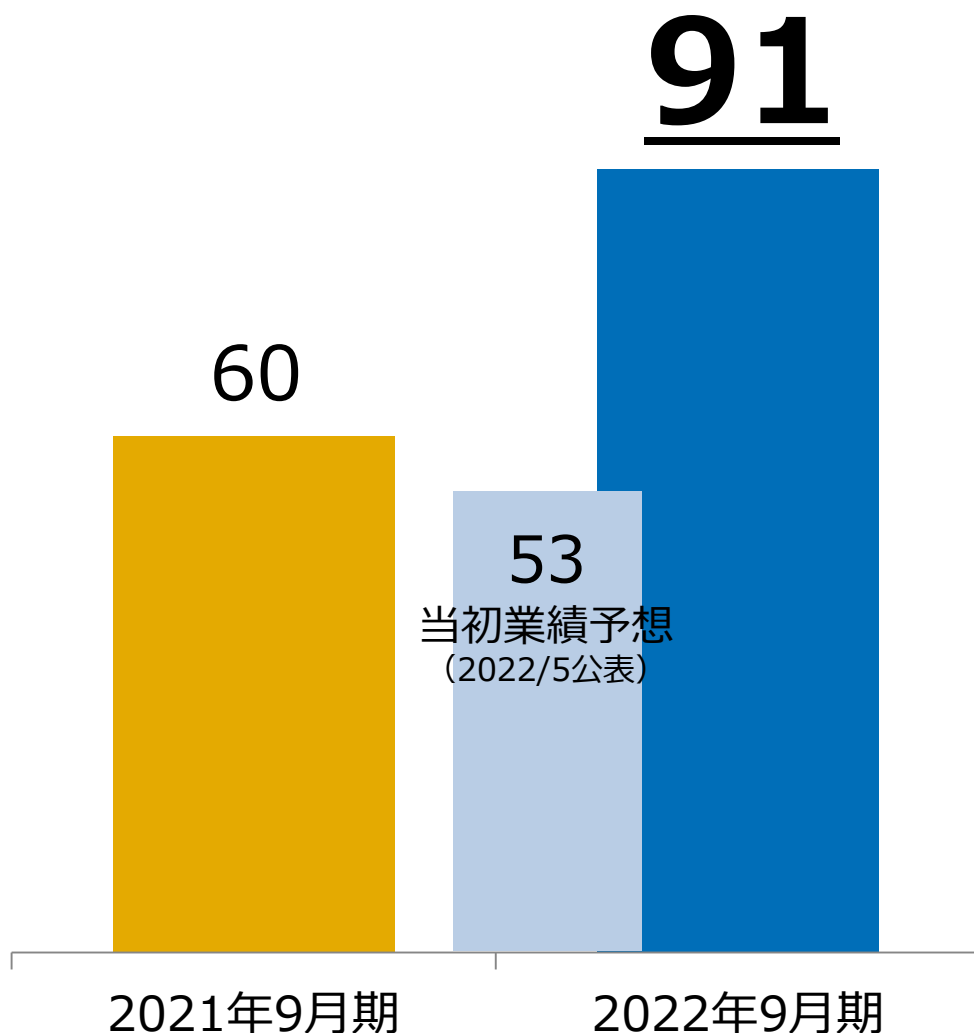
**+47億円
(+62.5%)**

業績予想比

**+46億円
(+60.6%)**

部門別 中間純利益の状況

銀行単体 (億円)



前年同期比

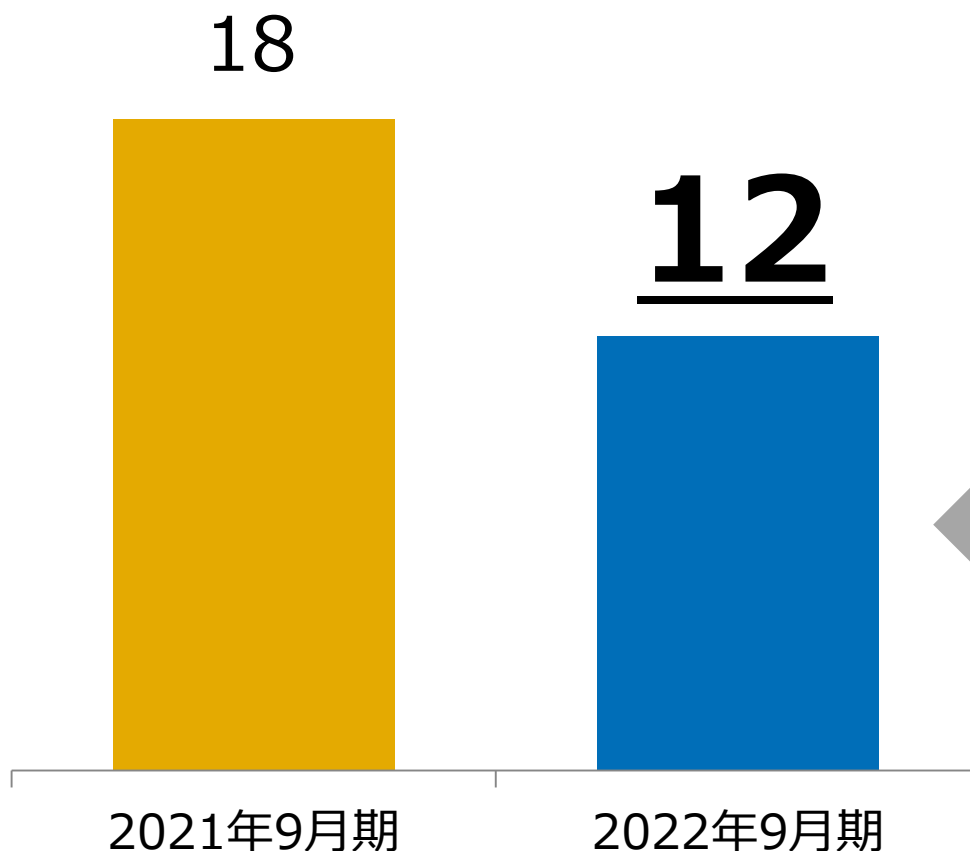
+31億円
(+53.0%)

業績予想比

+38億円
(+73.3%)

グループ会社部門 (億円)

※ 持株会社・銀行を除くグループ会社の
親会社株主に帰属する中間純利益の合計



前年同期比

▲6億円
(▲33.5%)

証券事業

前年同期比▲5億円 (▲54.1%)

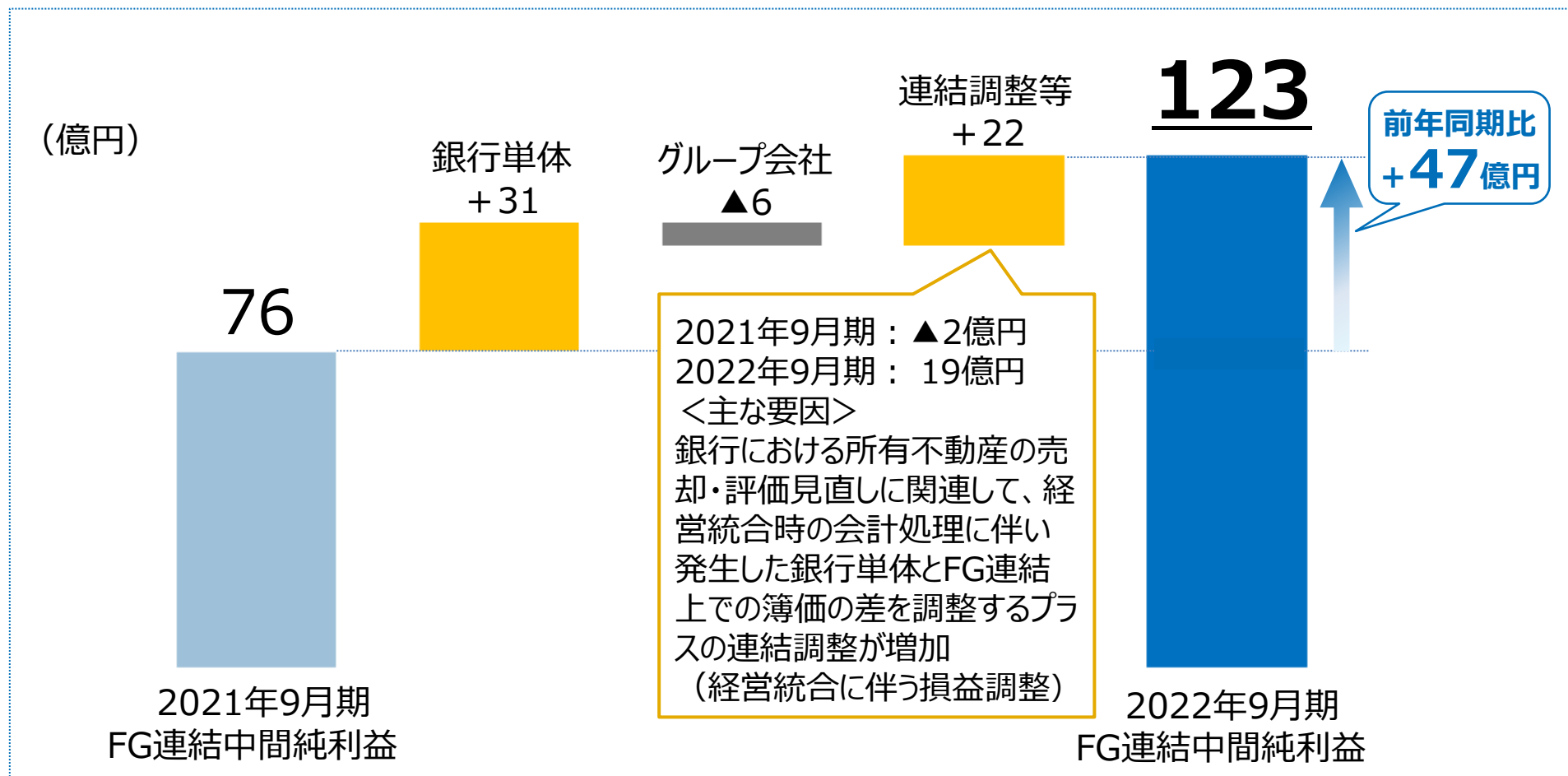
- － 不透明なマーケット環境を背景としたリスク回避姿勢の強まりなどにより、債券売買などによる収益が前年を下回る

リース事業

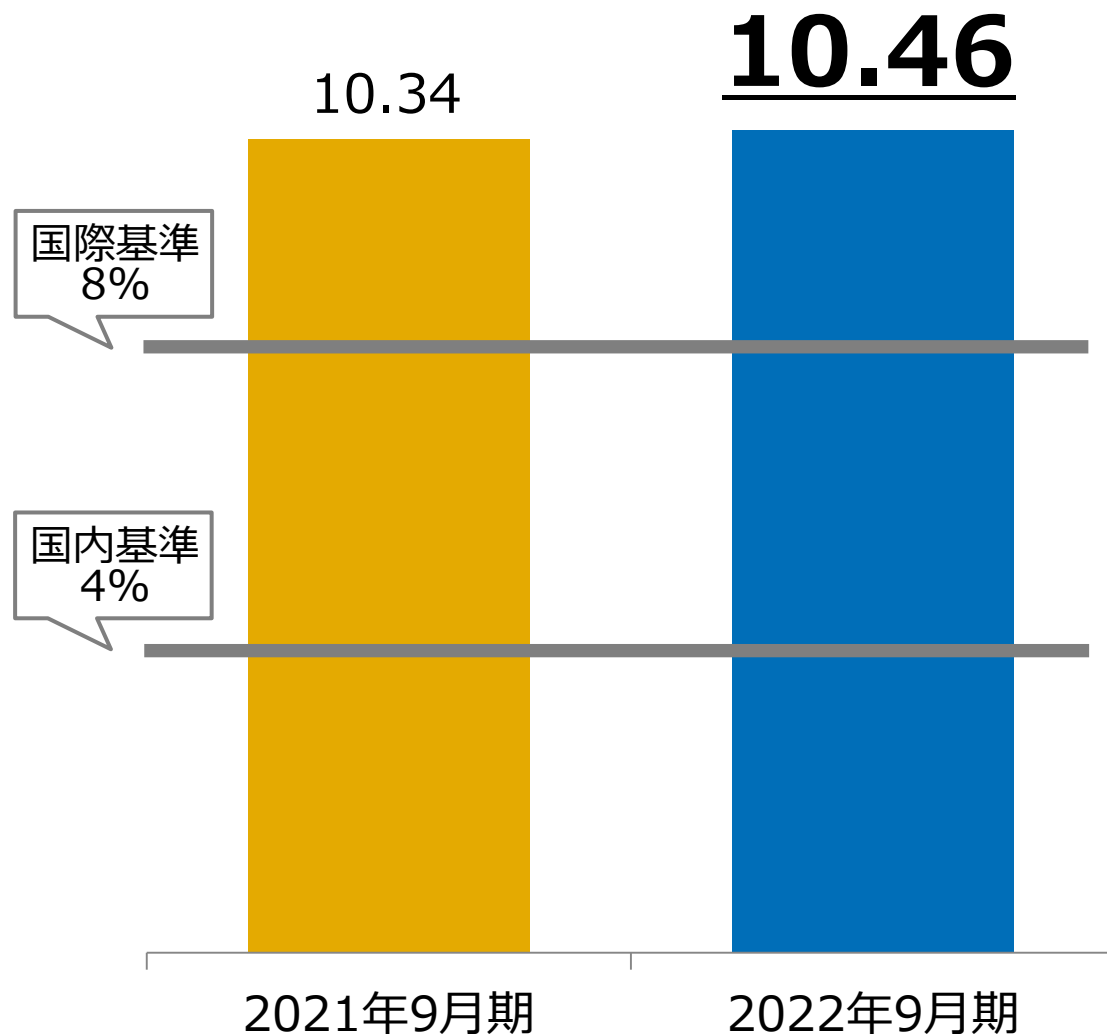
前年同期比▲1億円 (▲115.3%)

- － 大口取引先のランクダウンにより信用コストが増加。売上総利益は前年並み水準を確保

銀行単体が増益となったほか、連結調整がプラスとなり FG連結中間純利益は増益



FG連結 (%)

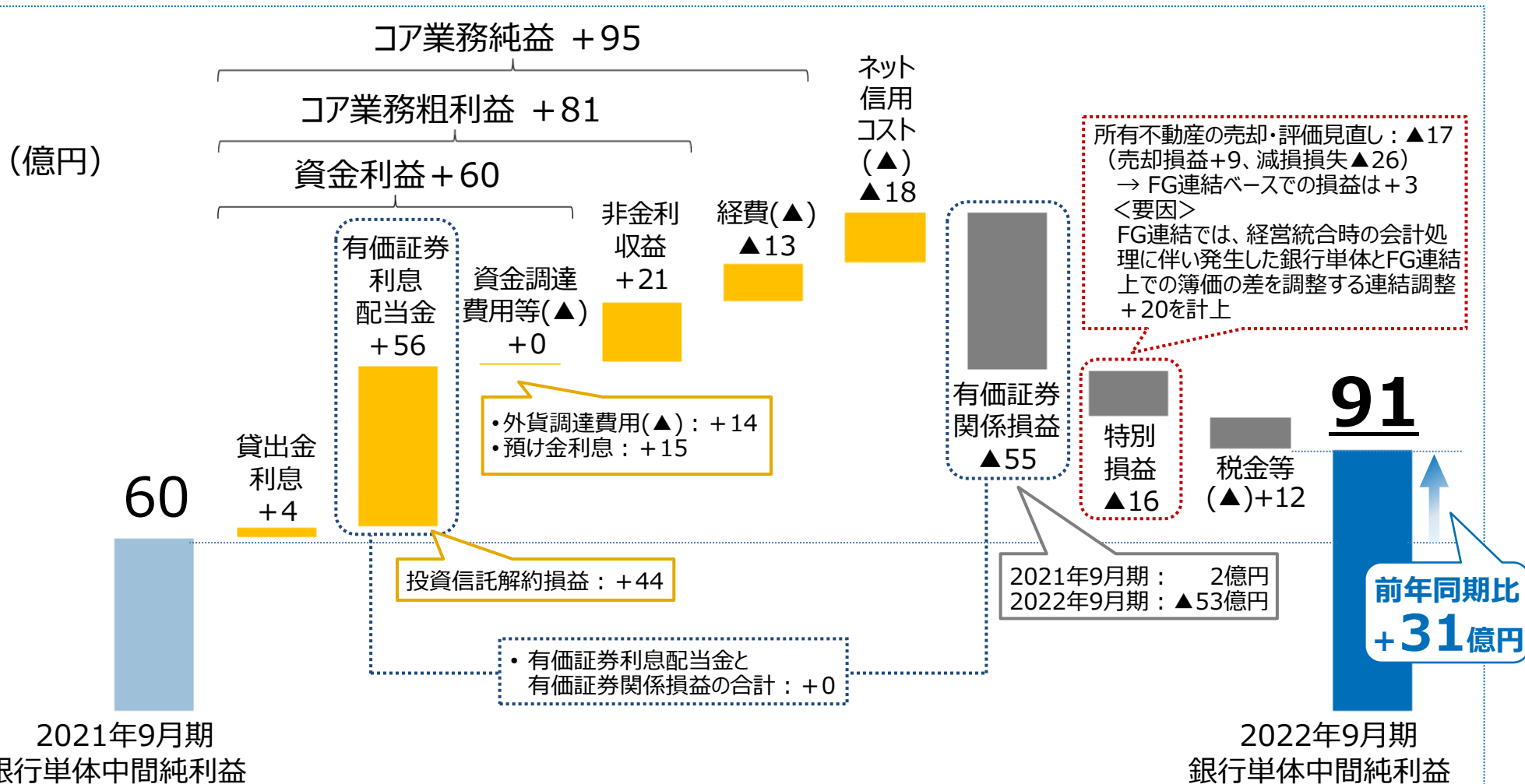


前年同期比

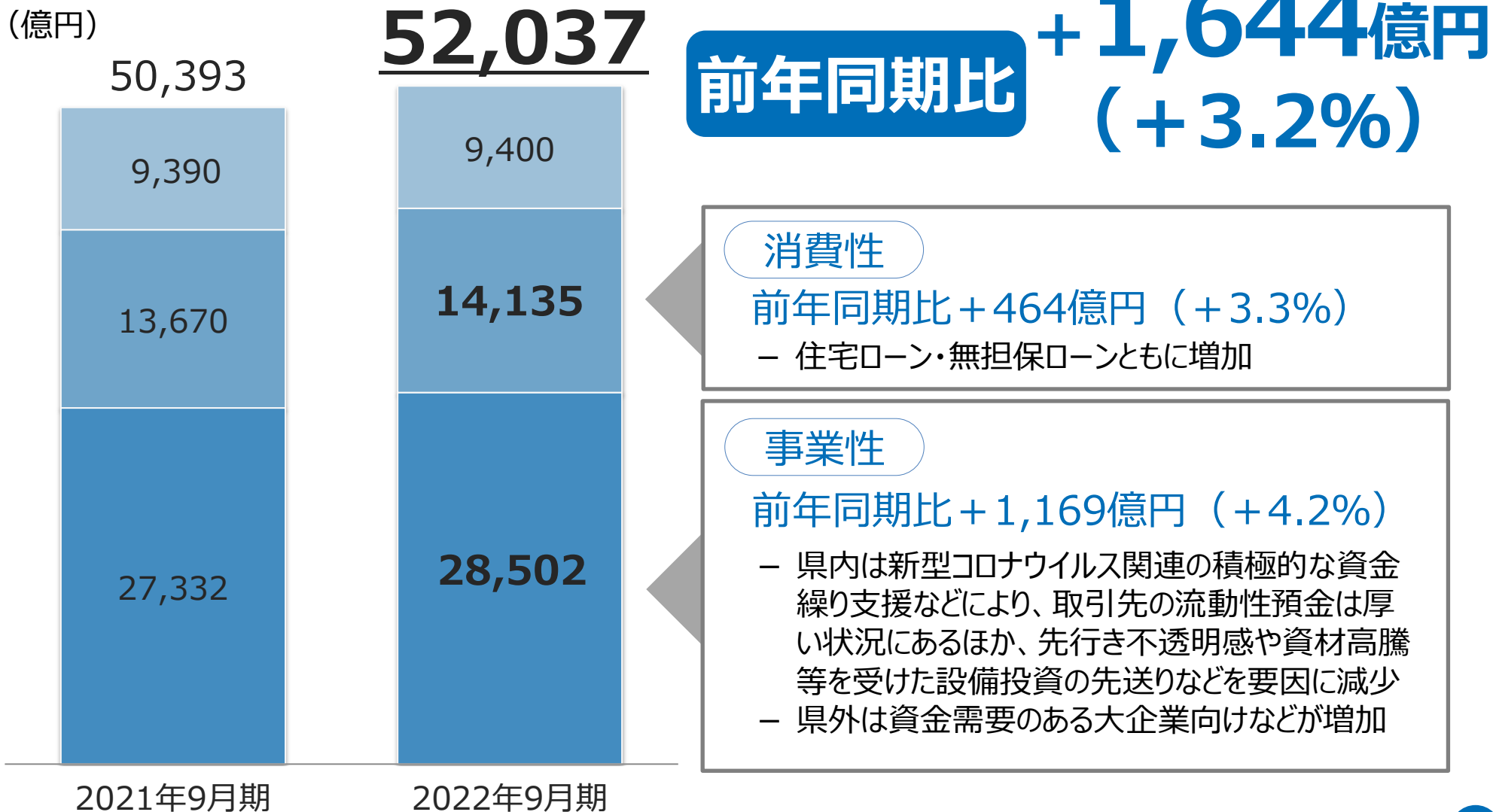
+0.12pt

- － FG連結での自己資本比率は国内基準である4%、国際基準である8%を上回る十分な水準を確保

非金利収益の増強やコスト抑制（経費・ネット信用コスト）により、 銀行単体の中間純利益は増益

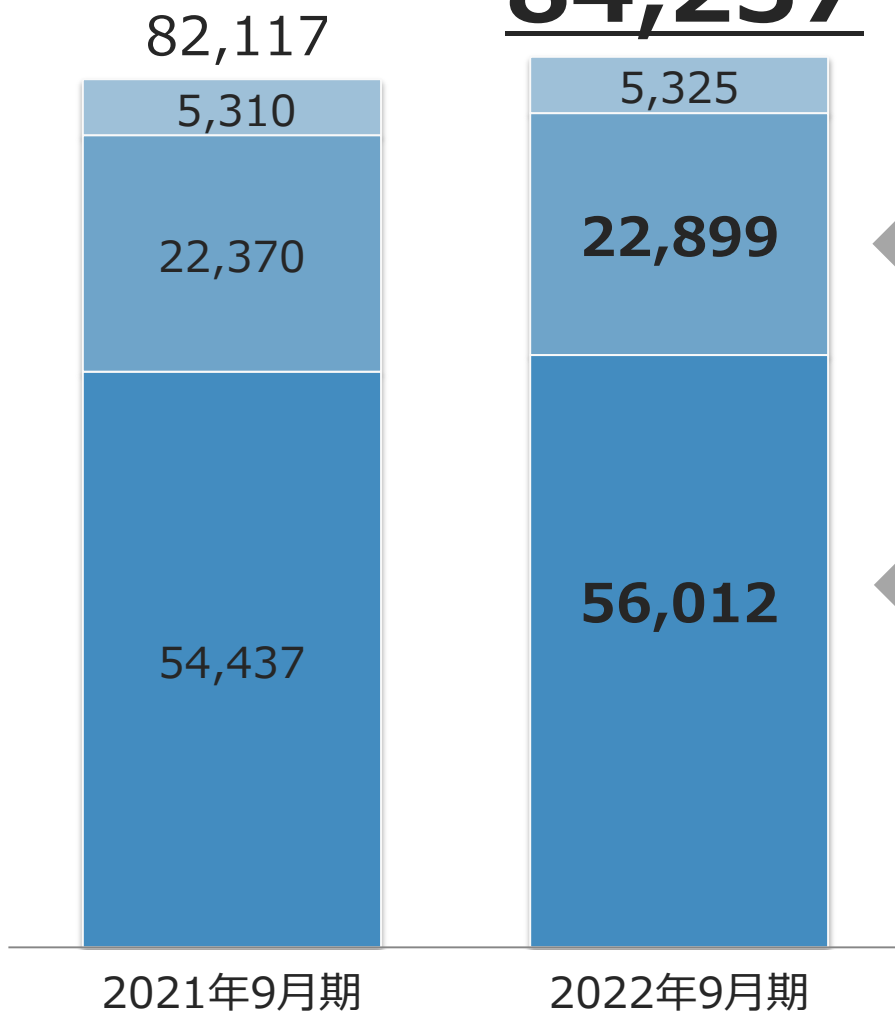


■ 事業性 ■ 消費性 ■ 公金



■ 個人 ■ 法人 ■ その他

(億円)



前年同期比

+2,119億円
(+2.5%)

法人

前年同期比 + 528億円 (+2.3%)

個人 (個人事業主を含む)

前年同期比 + 1,575億円 (+2.8%)

－ 譲渡性預金を含めた預金等残高は、
法人・個人ともに順調に増加

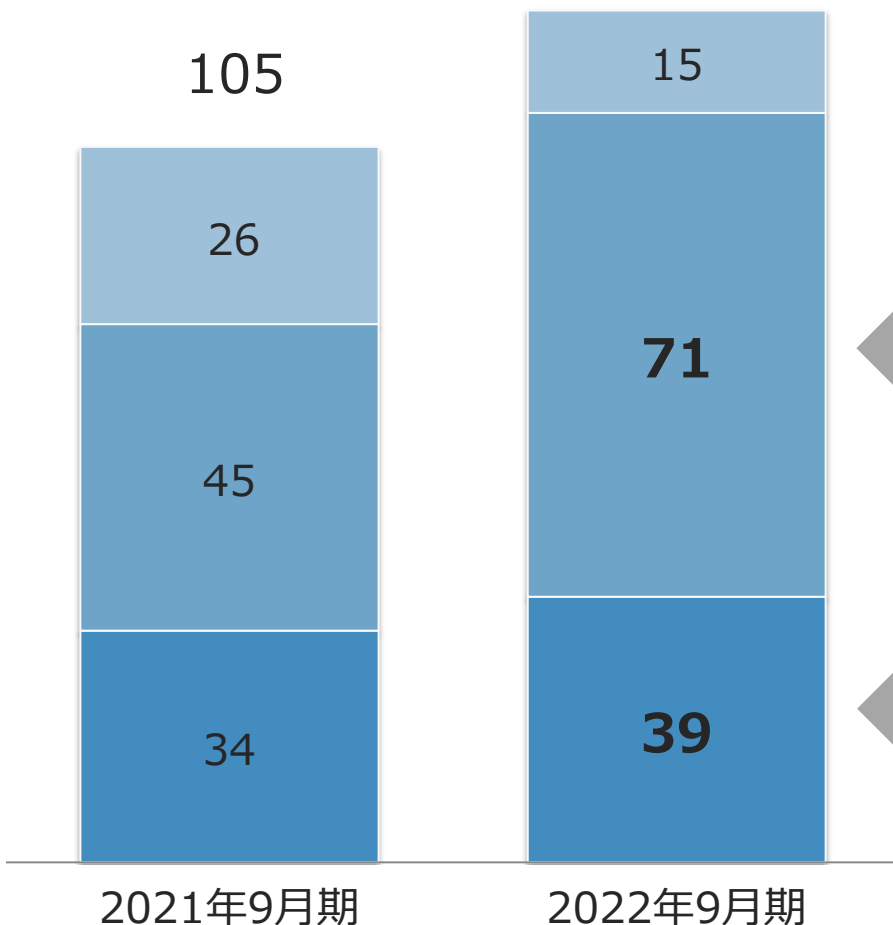
■ 資産運用アドバイス ■ 金融ソリューション ■ その他

(億円)

126

+21億円
(+20.5%)

前年同期比



金融ソリューション収益

前年同期比 +26億円 (+59.6%)

- デリバティブ、シンジケートローンが増加

資産運用アドバイス収益

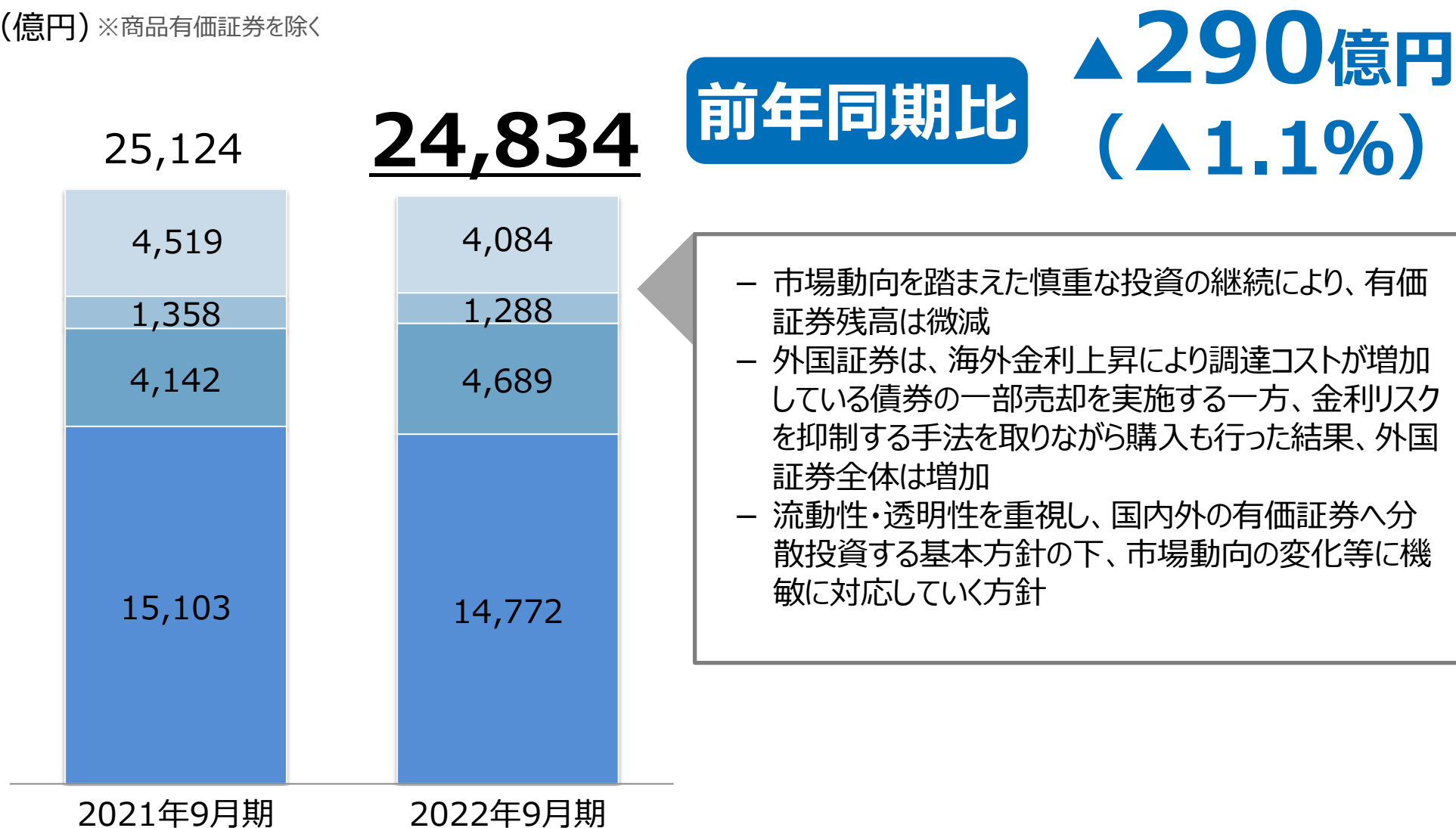
前年同期比 +5億円 (+16.1%)

- 保険、信託業務 (遺言信託等) が増加

有価証券残高（末残）

■ 国内債券 ■ 外国証券 ■ 株式 ■ その他証券

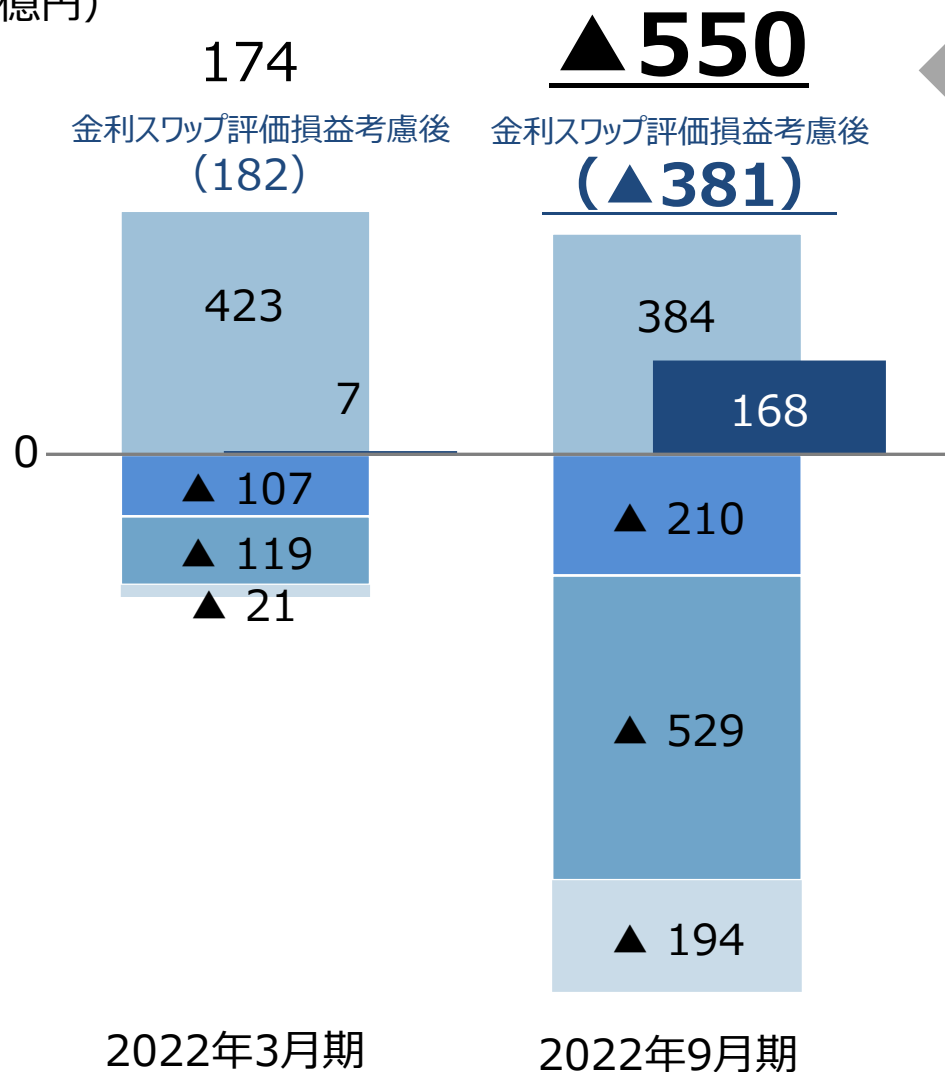
(億円) ※商品有価証券を除く



<参考> 銀行部門 有価証券評価損益

- 国内債券 ■ 外国証券 ■ 株式 ■ その他証券
- 有価証券にかかる金利スワップ評価損益

(億円)



有価証券評価損益

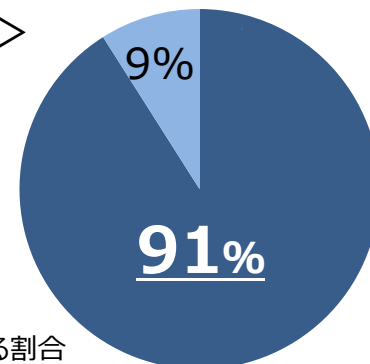
2022年9月期 ▲550億円
(2022年3月末比▲724億円)

金利スワップ評価損益考慮後
▲381億円
(2022年3月末比▲564億円)

- 世界的な金利上昇などにより評価損益はマイナスに転じているが、債券運用の大宗は国内外の高格付の先進国の国債のため、基本的には満期まで保有すれば額面で償還される。この場合、売却しない限り、評価損が実現することはない。

<外貨建債券の内訳>

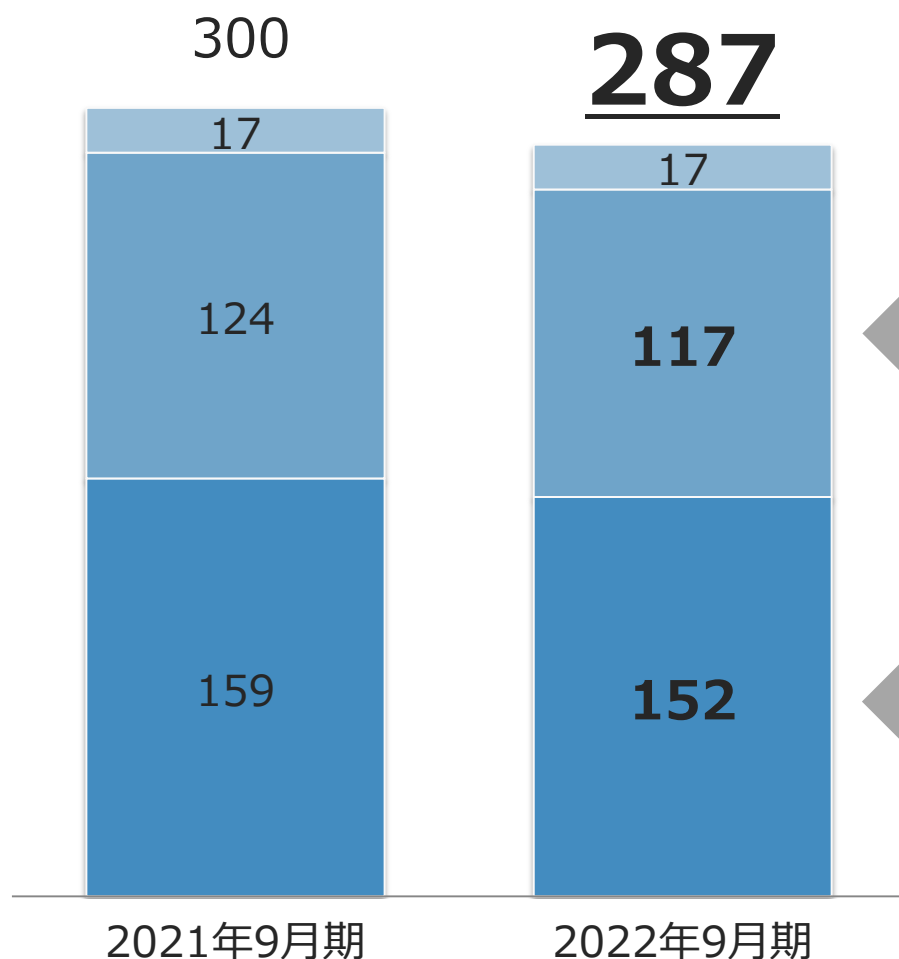
- 国債
- 事業債等



※ 簿価残高に占める割合

■ 人件費 ■ 物件費 ■ 税金

(億円)



前年同期比

▲13億円
(▲4.4%)

物件費

前年同期比▲6億円 (▲5.4%)

- － 預金保険料、システムの減価償却等の減少
- － 頭取を委員長とする「構造改革・DX推進委員会」での厳格なコスト管理の実践

人件費

前年同期比▲6億円 (▲4.0%)

- － 店舗統合や業務改革による業務量減少に伴う人員数の適正化による減少
(定年退職、採用の適正化等による自然減)

■ 不良債権比率 ■ ネット信用コスト

(%)

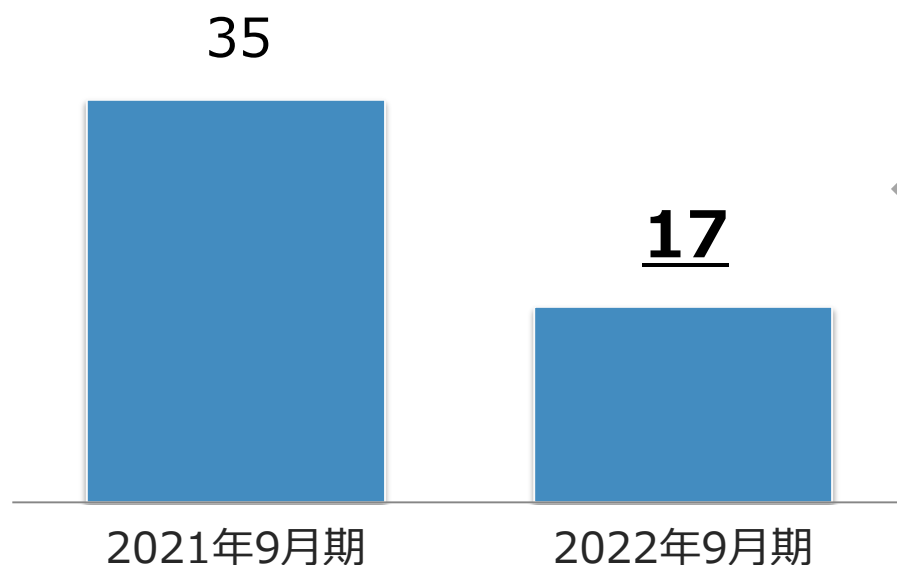


不良債権比率

前年同期比 + 0.25pt

- － 業績低迷の長期化を要因とした企業のランクダウンの発生などにより増加

(億円)



ネット信用コスト

前年同期比 ▲ 18億円

- － お取引先への経営改善・事業再生のご支援に注力したことなどから減少
- － 新型コロナウイルス感染症や物価高、円安などによる影響を注視し、引き続きお取引先のご支援に注力

2023年3月期業績予想

中間期は当初業績予想を上回り、**FG連結純利益の進捗率は74%と順調に進捗**

但し、新型コロナウイルスの影響長期化に加え、商品価格の高騰等を背景とした世界的なインフレ率の高まりや、インフレ抑制に向けた欧米での金融引き締めなど、今後の社会・経済情勢および金融市場動向等が不透明であることから、通期の業績予想値は、**当初公表値を据置き**

FG連結 (億円)	2023年3月期 業績予想	2022年 9月期実績	業績予想に 対する進捗率
経常利益	249	173	69.8%
当期（中間）純利益 ※1	165	123	74.9%

※1 親会社株主に帰属する当期（中間）純利益

銀行単体 (億円)	2023年3月期 業績予想	2022年 9月期実績	業績予想に 対する進捗率
コア業務純益 ※2	252	209	82.9%
経常利益	192	145	75.9%
当期（中間）純利益	120	91	76.5%

※2 銀行単体のコア業務純益は業績予想を修正済【当初】222億円 → 【修正後】252億円（+30億円）（2022.10.28公表済）



DAISHI HOKUETSU
Financial Group

第四北越フィナンシャルグループ

お問い合わせ先

**第四北越フィナンシャルグループ
経営企画部**

T E L 025-224-7111

E-mail g113001@dhbk.co.jp

本資料には、将来の業績に関する記述が含まれています。こうした記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。将来の業績は、経営環境の変化などにより、目標対比異なる可能性があることにご留意ください。